

2025年11月27日

各位

会社名中越パルプ工業株式会社 (コード番号 3877 東証プライム市場) 代表者名 代表取締役社長 福本 亮治 問合せ先 経営管理本部副本部長兼管理部長 秋 永 吉男

(TEL. 0766-26-2404)

「中期経営計画2030 基本方針」のお知らせ

中越パルプ工業グループは、来年度をスタートとする新たな中期経営計画の公表に先立ち、「中 期経営計画2030 基本方針」を下記の通りお知らせいたします。なお、中期経営計画2030の詳細は 2026年5月の発表を予定しております。

紙パルプ業界を取り巻く環境は、構造的問題による需要減少や物価上昇、海外経済の減速、地政 学リスクの高まりなどにより先行き不透明な状況が続いています。これに加え、持続可能な社会を 実現するための地球温暖化防止の取り組みが企業の社会的責任として強く求められております。

以上のことから、「紙パルプ事業基盤強化」「新規事業」「GX推進」の3本の柱を基本方針と した中期経営計画2030を策定し推進する予定としております。

記

1. 計画の期間

2026 年度~2030 年度 (5年間)

- 2. 中期経営計画 2030 基本方針
 - ① 紙パルプ事業基盤強化 『事業構造転換(既存紙製品需要減少への対応)』『エネルギーソースの最適化』
 - ② 新規事業 『IV・M&A等による共創ビジネス』『パルプの高度利用』『バイオリファイナリー事業』
 - ③ G X 推進 『化石燃料削減』『排出量取引効果の最大化』『植林の推進』『新たな環境目標の設定』

DX、人的資本経営を絡めることで上記施策の実行力を高めます。

3. 経営目標

- ① 2030年度までに、連結営業利益80億円、ROE8%の収益確保を目標とします。
- ② 製造工程における化石燃料由来のCO2排出量を2030年度までに2013年度比50%削減とする従 来目標を上方修正し、2030年度までに55%削減することを目標とします。



中期経営計画2030 基本方針

2025年 11月 27日中越パルプ工業株式会社

目次



- 1. 中期経営計画2030 基本方針
- 2. 中期経営計画2030 事業戦略
- 3. 中期経営計画2030 目標

1. 中期経営計画2030 基本方針



外部環境

- ●コスト高原燃料、人件費、物流費等の上昇
- ●紙需要の減少 グラフィック用紙を中心とした紙需要の減少
- 環境対応の高まり 脱プラスチック需要の増加や脱化石燃料へ向けた動きの加速



必要な取り組み

- ●市場構造変化への対応 注力すべき分野の選択と集中
- ●新規事業への取り組み 新たな事業領域への挑戦
- ●カーボンニュートラルへの歩み CO。削減取り組みの加速、排出量取引等の有効活用

外部環境に対応する営業活動の展開と事業構造転換による企業価値向上、その後の新規事業領域への展開を見据え、新たな事業戦略の策定を行う

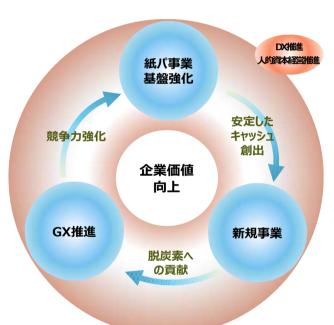
1. 中期経営計画2030 基本方針



基本方針

紙需要の減少が予想される中で、紙パルプ事業の基盤強化・新規事業・GX推進を3本の柱とした施策を基本方針とし、企業価値の向上を目指す。

空体の可じの、 工業 画 恒 の 向 工 で 口 頂 す 。	
紙パルプ事業 基盤強化	事業構造転換(既存紙製品需要減少への対応)●エネルギーソースの最適化●セルロースナノファイバー早期事業化
新規事業	JV·M&A等による共創ビジネス● パルプの高度利用● バイオリファイナリー事業
GX推進	●化石燃料削減●排出量取引効果の最大化●植林の推進●新たな環境目標の設定



DX・人的資本経営の推進により、組織全体の効率性と持続的成長を実現、各施策の実行力を高める。

- ●業務プロセス改善
- ●社内外データ活用による新たな価値創造
- ●人材投資・人材戦力 個人・組織の活性化(知・経験のD&I、リスキリング・学び直し、従業員エンゲージメント)

2. 中期経営計画2030 事業戦略 戦略ステップ



2030

キャッシュ創出による 投資促進

新規事業への着手

創出したキャッシュを活用し、 新たな収益源の確保を実現 パルプ高度利用

バイオリファイナリー事業

キャッシュ創出による投資促進

収益拡大

競争力強化に向け 各取り組みを発展 事業基盤強化投資等による生産・エネルギーの最適化

GX取り組み推進

持続的成長の 実現

収益基盤強化

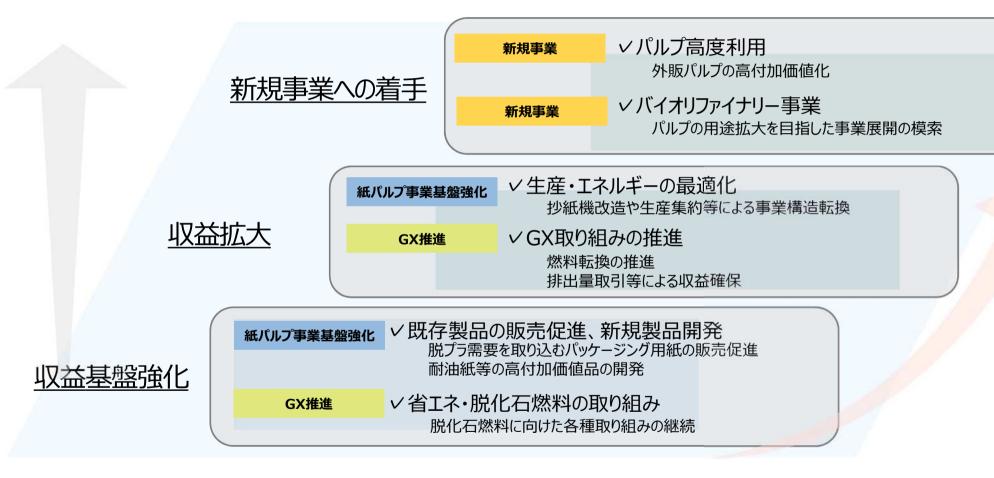
中期経営計画2025から 継続した取り組み 既存製品の販売促進 新規製品開発 省エネ・脱化石燃料の取り組み 組織全体の効率性アップ

2026

DX・人的資本経営推進による実行力強化

2. 中期経営計画2030 事業戦略 戦略ステップ





3. 中期経営計画2030 目標



基本方針に沿った各種施策を作成・遂行し、以下の連結収益目標、環境目標の達成を目指す。

連結収益目標		
営業利益	ROE	
80億円	8%	

環境目標

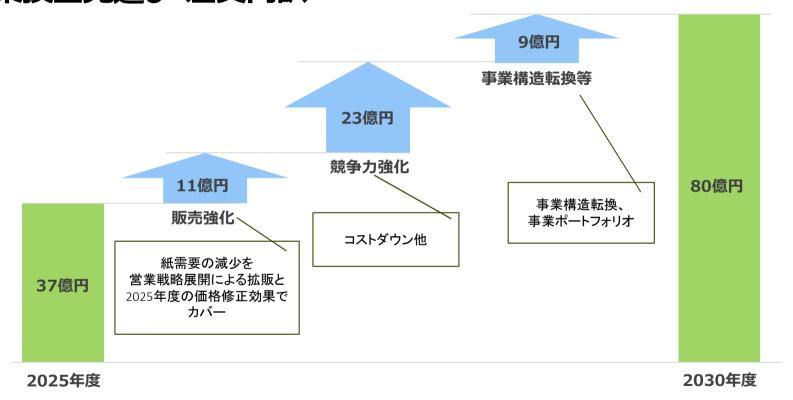
2030年度 製造工程における化石燃料由来CO₂排出量

2013年度比55%削減

3. 中期経営計画2030 目標 連結収益目標 営業損益見通し



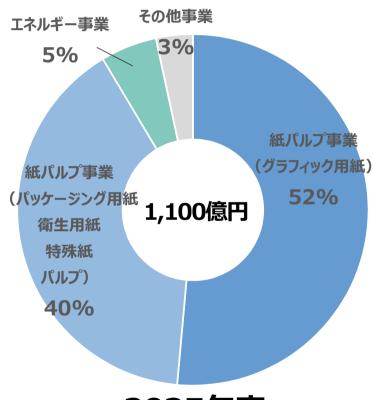
連結営業損益見通し 差異内訳



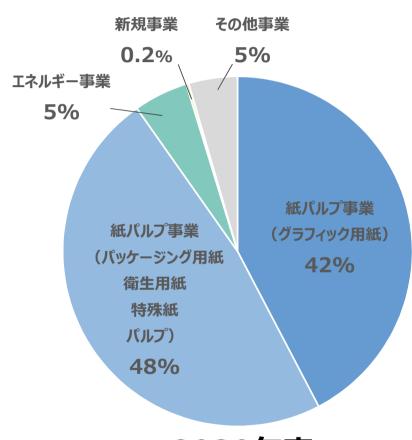
3. 中期経営計画2030 目標 事業ポートフォリオ



売上高ポートフォリオ



2025年度

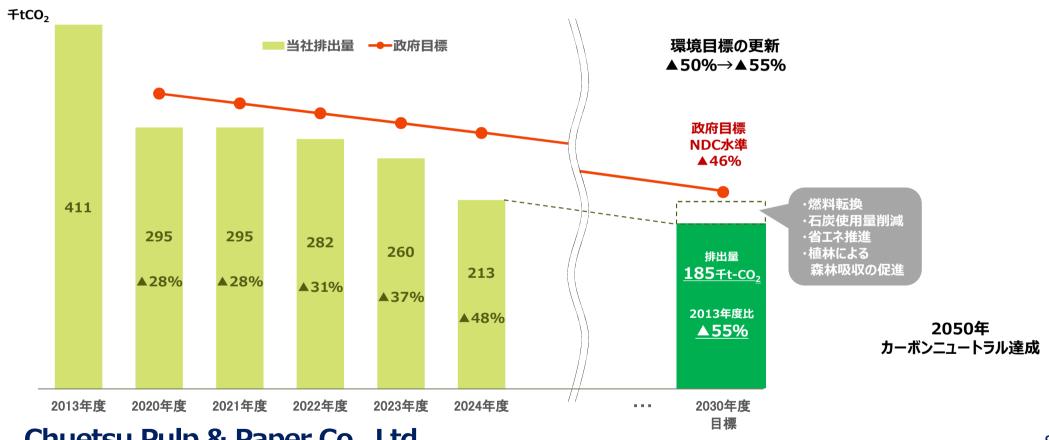


2030年度

3. 中期経営計画2030 目標 環境目標 CO₂排出量推移



「中期経営計画2025」の環境目標であった製造工程における化石燃料由来CO2排出量50%削減(2013年度比)から 上方修正し、55%削減を目標として設定





本資料に記載されている戦略や目標、将来予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、今後の当社を取り巻く経済・事業環境などの変化により、実際の業績、その他の結果は、本資料に記載されている将来の見通しとは大きく異なる可能性があります。

従いまして、投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行うようお願いいたします。 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。